

活動報告

団体名	ezorock
活動名	現地ニーズに応じたボランティア派遣と現地支援活動
活動期間	2019/04/01～2019/09/30
活動の成果	<p>倒壊した炭窯の修繕活動や倒壊した鹿柵の修繕活動などをおこないました。現地での炭窯修繕活動やシカ柵修繕活動を経て、地震によって壊れて現地の方だけでは修繕できなかった炭窯やシカ柵を再建し、営業再開や農業再開まで漕ぎつけることができました。また、厚真冒険の杜プロジェクトや長期滞在プログラムでの子どもの居場所づくりでは、目に見えないストレスを感じている子ども達が自然の中でのびのびと過ごせる場を提供することができた。活動に参加した若者は、現地の方と一緒に作業したり、話をする中で、徐々に地域に愛着を持ち、また現地を訪れたいと思うようになるなどの変化が見られた。特に長期滞在プログラムでは、厚真町内に滞在し、毎日放課後児童センターでの子どもの居場所づくり支援を実施。他の時間で、町内の方と交流したり、じっくりとまちを知る時間を取ることが出来て、学びを得た若者が多かった。一方で、地域側からも手の足りていないところに長期的に関わってくれる若者がいるという安心感と実際に町内の方だけでは出来ない作業も行うことができたり、活動のクオリティが上がったという声があがった。また、ユースミーティングや報告書の作成、コミュニティFMとの連携による発信活動により、まだ実際には現地を訪れてはいないが、関心がある、どうすれば活動に関わることが出来るのか模索しているという若者層との接点づくりを行うことが出来た。この繋がりは今後の活動に活かしたい。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>発災から1年が経った現地では、土砂の撤去や家屋解体が進み目に見える課題は解決に向かっていくように見えます。しかし、子ども達のストレスやコミュニティの分断など目に見えない部分での支援はまだ必要とされています。私たちは今後も、現地で起こっていることを自分の言葉で話せる次世代となりうる多くの若者を巻き込みながら現地の方々と一緒に、まちが外部の力を必要としなくなる時まで活動を継続していきます。</p>

(活動のようす)

